

令和7年度【2025年度】

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0316
施設名	かすみ台第一保育園
施設所在地	東京都青梅市大門2-253
法人名	社会福祉法人かすみ台福社会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

水、光

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

雨天時にクラス前に設置されているウッドデッキで遊んでいたところ、屋根から垂れてくる雨水に指を指したり反射に興味を示していたことから水と光をテーマにした。水、光によって生じる色々な現象により五感を刺激して子ども達の興味関心をさらに深めるため。

2. 活動スケジュール

①ウッドデッキでたらいに水を入れ水遊びを行う。(水に触れる、水の感触、冷たさを感じる)

②たらいに入れた水の動き、透明のカップに入れた水を光に当て、光る様子を見る。(水面を叩く、水と太陽の光)

③ジュエル積み木を水に入れ積み木が光る様子、光に当てると反射で陰に色が出る様子を見る。(太陽の光、色、陰)

④室内でもジュエル積み木で遊び、光が当たった時の反射や陰を見る。(太陽の光、色、陰)

⑤ジュエルコマで遊び、色や光の動きを見る。(色、光、追視)

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

・たらい、水、透明の容器、カラーボール、カラフルカーテン、ジュエル積み木、ジュエルコマ

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・ウッドデッキでたらいに水を入れて水遊びを楽しむ。
- ・様々な容器やカラフルボールを水遊びの道具として使い、水の感触、動き、色を楽しむ。
- ・カラフルボールを繋げてカーテンを作り、触れたり揺れる様子を見る。
- ・ジュエル積み木が光る様子、影で映る色等に気付く。
- ・室内でジュエル積み木を使って遊び、光が当たって輝く様子、影で映る色に気づく。
- ・ジュエルコマで遊び、光る様子、色の違い、回した時の動きを見る。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・低月齢の子は光まで興味が向かなかつたが、タライの中に身を乗り出して水に触れ、バシャバシャと感触を楽しんだりと水をテーマに活動を楽しめた。カラフルカーテンは柵にぶら下げたので低い目線でもよく気が付き、担任が揺らしてみても自分でも触ったりじっと見る様子が見られた。
- ・高月齢の子は水の入ったカップを自分で揺らし、水の動きやしずくが落ちる様子に興味を示していた。又、保育士が水入りのカップにジュエル積み木を入れ光ったり積み木の色が水中に広がっていくように見える様子を見せると、自分でも入れてのぞき込み、見て！と言うように笑顔で応えていた。
- ・水のみ入ったタライでは触ることに抵抗を示したり興味を持たない子がいた。しかし、ウォーターボールやジュエル積み木を入れることで視覚から引き付けられ、水の中に手を入れる子が増えた。自ら手を入れることで水遊びに抵抗がなくなり、感触や冷たさを感じて楽しむことができた。
- ・ウッドデッキの柵の上にジュエル積み木を並べると、太陽の光に反射した色のついた影ができていることに気付き、指先で触ったり声を出して指を指し、保育士に知らせていた。「きれいだね、色がついてるね」などの声掛けに、うんうんとうなずいたり、もう一度指を指したり、じっと見つめる様子が見られた。
- ・室内にはジュエル積み木とジュエルコマを取り入れた。コマを回すと反射した光に気付き目で追ったり、光る様子を見て友達や保育士と顔を見合わせるなど共有して楽しむ姿が見られた。カラフルな影や形の変わる影をじっと見たり触ろうとしたり、保育士に知らせたりと様々な反応を見せていた。
- ・子ども自身で遊びを広げることは難しかったが、“自分もやってみたい”と遊びへの意欲につながったり、「キラキラ」「きれい」など保育士の真似をして言葉を発する姿も見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・最初の子どもの気づきのきっかけは殆ど保育士による働きかけや声掛けによるものであったが、ジュエル積み木を陽の光に当てると床に色が現れることを知り、自分で置いたり並べたり積み重ねたりなど、自ら考えて遊びだす姿が見られ、子ども達の遊びたいという意欲を高めることが出来たと感じた。又、カラフルな影は大人も楽しむことができ、一緒に楽しみ共有し合うことで子ども達の反応も良かった。一緒に楽しむことも大事であると改めて感じた。又、五感を刺激することで発語も増えていた。
- ・気付かせようと過度な声掛けが多くなってしまい、純粹に楽しめずに気づかされただけで終わった場面もあったので、子どもが発見して気付く様子を待ったりその思いに共感する大切さを改めて感じた。
- ・色に興味を持っていたので、別にペットボトルで色水を用意すると、光と色への興味が増し、取り組みによって得られた好奇心や関心が遊びに広がっていると感じた。